

2022年度 学校法人 三幸学園 仙台スイーツ&カフェ専門学校 自己評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 佐々木 成史

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、製菓・調理分野の学校として「美味しくてかわいいスイーツとカフェを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、製菓・調理分野として「美味しくてかわいいスイーツとカフェを通じて、時間と空間をトータルプロデュースし、人の心を豊かにする人材を育成する(全ては、お客様の笑顔とありがとうのために)人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

【育てる育成像】

・素直な心、感謝の気持ち、高い意欲、自ら考え行動し社会に貢献できる人

【学校運営で取り組んだこと】

- ・ 魅力的な授業展開、活気ある風土を醸成することで、退学者数の減少を目指す。
- ・ 授業見学や、実習教員の技術研修等を実施した。
- ・ 一昨年に引き続きスクールカウンセラーの設置や、週に一度担任ミーティングを実施し(隔週でスクールカウンセラーも同席)学生の情報を共有している。
- ・ 今年度もねらいのある年間スケジュールを設定している。
- ・ 学年担任制を継続しながら、2年生はチーム担任制をより仕組化するなどし、個に対する対応力や就職指導力を全体であげられるよう努め、退学者数の低減を目指したい。

2021年度 4.0%

2022年度 5.1% →主な理由:精神的理由、目標喪失が多い

2023年度 3.2%以下(目標)

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

・学校が現場での指導や求めているスキルを把握しきれていない。

② 今後の改善方策

- ・業界のニーズを把握するため、卒業生訪問(特に2021年度生を中心に)の回数を増やし、強化する。
(2022年度卒業生はまだ就職してから間もない為2021年度が対象)
- ・業界のニーズに合った教育を行うための教員研修会の実施。

③ 特記事項

特になし

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

・システムによる情報の効率化を引き続き検討する。

② 今後の改善方策

- ・Google classroom を活用し、情報伝達のスピードと確実性を上げる(2021年度より継続実施)
- ・出欠入力のWEB化の更なる強化

③ 特記事項

・特になし

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員的能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

- ・担任及び実習教員の指導力向上
- ・悩みを抱える学生(家庭環境、友人関係、授業についてこれない など)への接し方、問題解決への対応

② 今後の改善方策

- ・飛鳥未来高等学校(本校姉妹校)、飛鳥未来きずな高等学校(本校姉妹校)と連携し、高校生の実情と時代背景を理解し、日頃の教務に活かす。
- ・高校分野教員による教員研修を通じて、現代の高校生の対応の仕方などタイムリーに学び、生徒指導に活かしていく。
- ・全国姉妹校と連携し、実習教員の技術研修を行い、技術向上を図る。

- ・スクールカウンセラーとの連携による学生のケア(月 1 回は学年担任ミーティングに参加をいただき情報の共有、アドバイスを頂く。)
- ・技能検定合格に向けて、合格基準に満たない学生に個別に声掛けをして、休校日に任意のフォローアップを実施。
- ・こども食堂や商品開発の実施。
- ・有償ゼミの実施(トップ層育成)

③ 特記事項

- ・特になし

(4)学修成果

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

- ・卒業後の支援や管理が不十分(卒業時の就職未決定者のフォロー、就労定着率の向上)

② 今後の改善方策

- ・卒業生訪問を実施し、卒業生の活躍を把握し、教務に活かす。
- ・退学率低減に伴う 2023 年度取り組み。
 - 1.学年担任制の管理の徹底
 - 2.教務ルールの一統
 - 3.ねらいのある年間スケジュール(特別講習やゼミの実施)
 - 4.授業見学の実施
 - 5.学内店舗実習と他授業の連携
 - 6.就職指導は全教員が関わり実施
- ・今年 10 周年同窓会を開催予定。同窓会を期に卒業生同士のつながりの機会を増やす。

③ 特記事項

- ・特になし

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

- ・保護者との連携強化(日中の電話連絡が繋がらない)

② 今後の改善方策

- ・保護者への連絡手段として、全保護者のメールアドレスを取得し連携を図る。
- ・可能な限りの ICT 教育を導入し、情報伝達のスピードと確実性を上げる(2021 年度より継続実施)。
- ・授業参観のタイミングで保護者説明会や面談を実施する。
- ・2月にクラス毎に保護者をお招きして料理、スイーツを提供する行事を実施(2022 年度より実施)。
- ・卒業生の就職先への訪問を強化継続する。

③ 特記事項

- ・特になし

(6) 教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

① 課題

- ・防災に対する教員・学生の意識を高める。
- ・インターンシップ実習の質を高める。

② 今後の改善方策

- ・防災訓練の担当を中心に、避難経路の確認や防災訓練を実施・継続する。
- ・企業連携を充実させ、学生の就職へのイメージを強化する。

③ 特記事項

- ・特になし

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

- ・本校の教育方針や特徴を十分に理解している志の高い新入生の確保

② 今後の改善方策

- ・募集活動を通じて、引き続き本校の方針・特色を伝える。

③ 特記事項

宮城県専修学校各種連合会が定めたルールに則った募集活動を行っている。

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第2次中期計画(2018年度～2022年度)の達成状況等の公開と同時に、第3次中期計画(2023年度～2027年度)を公開する予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・自己評価の実施後、課題解決策を実施するまでに時間を有している。

② 今後の改善方策

・自己評価を実施した上で、学校関係者評価委員会を開催し、外部評価も取り入れたうえでより精度の高い改善策を迅速に実行する(昨年度よりもさらに強化する)。

③ 特記事項

・特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

- ・2020年から継続して、毎年10月に本校で地域の小学生を対象とした製菓体験イベント(ハロウィンイベント)を実施している。
- ・あすと長町杜の広場にぎわいづくり協議会主催の長町夜市にて出店(2022年)。

(11)国際交流

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	3

① 課題

- ・留学生に対する受け入れ体制の強化、就職先の確保

② 今後の改善方策

- ・留学生の母国での起業支援の模索
- ・留学生の就職先の確保

③ 特記事項

・特になし